

今月の寺ともさん 作業療法士 竹内 厚子 さん



今月の寺ともさんは、作業療法士の竹内厚子さんです。竹内さんは、高松平和病院で25年程勤務され、患者さんのリハビリに携わっておられました。作業療法士とは、寝起きする、歩く等の基本動作以外の洗面や歯磨き等といった細かい作業ができるように患者さんをサポートするお仕事です。

今では病院の外来から、訪問看護ステーションへと拠点を移されました。訪問看護とは、文字通り在宅でお年寄りなどが介護されているご家庭に出向いて、ご本人やご家族の気持ちや事情をくみ取って看護することです。もちろん竹内さんの仕事は、日常生活を自分でできるようにリハビリ指導することです。介護保険で言う「要支援」の方でも、ケアマネジャーから要請されれば、リハビリに伺います。1回のリハビリは約1時間。病気やケガで、気力が萎えそうな時でも、ご家族やケアマネ・デイサービスの施設などの連携によりサポートすることで、より効果的なリハビリができるそうです。ご自宅への訪問を通じて、病院では分からなかった介護されるご本人の声・介護するご家族の声が直に聞こえて来て、リハビリの効果も手に取るように分かるのが喜びだそうです。これからも忙しいと思いますが、どうかご活躍下さい。

***** ご自慢のペットちゃん *****



名前：てんてん
 性別：♂（去勢済み）
 お年：9か月
 種類：スコティッシュフォールド
 好物：去勢用カリカリ・缶詰
 苦手：お家の外の世界
 住所：峠さん宅(高松市)
 性格：おとなしい

エピソード：ご覧下さい、かわいい坊やと一緒に写っている「てんてん」を。なぜ「てんてん」というと、お見せできないのが残念ですが、お尻のあたりに、3つ点がありぶち模様なので「てんてん」と名付けられました。耳がピンと立っていますが、列記としたスコティッシュフォールドの血統書付きです。さらに驚くなかれ、迷い猫になっても見つかるようにと、体内にはなんと！マイクロチップも埋め込まれているのです。これで安心だね、「てんてん」。

ご自慢のペットちゃん
 募集中だにゃん！

***** 総代さん便り *****

総代の本川です。先日、大谷大学主催の仏教講演会(於県立ミュージアム)に出席しました。興味深かったのは、講師の織田先生の「現代はどんな時代か」との問いへの学生の回答集です。①人の結びつきが弱くなり孤立化しやすい時代②便利なのにまだ足りないと思っている③社会から死がみえなくなった④競争主義の中で他人と自分を比べ、不満・不安を感じる⑤便利で快適ゆえ人は我慢しなくなった。など私の学生時代に比べ、しっかりした考えを持っている彼らに感心しました。講演会の結語は、便利になり、世の中、結構思うとおりになる→結果、些細なことに腹が立つようになる→「私たちが求めていたものはそんなことではないはず」と教えてくれるのがブッダの智慧、というものでした。大谷大学関係者に大感謝の一日となりました。

